

1. 学年・教科・単元名 1年 算数科 「いくつといくつ」
2. 実践者（所属） 田中 啓介（平小学校）

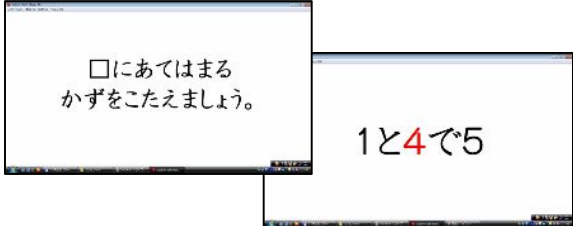
3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト、コンテンツ		出 力	
	教材提示装置		Web サイト	○	50 インチ大型テレビ
○	コンピュータ		()		電子黒板
	デジタルカメラ	○	PC ソフト		プロジェクタ
	SD カード		(フラッシュ基礎・基本)		プリンタ
	デジタルビデオカメラ		DVD ソフト, 放送番組		
	DVD プレイヤー		()		
	その他 ()				

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章、表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするため		わかりやすく発表したり表現したりするため
○	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動（3分）	ICT 活用の留意点等
1. 授業前の3分間で「5の合成」について復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目は「1と4で5」などと画面に表示された文章を大きな声で読ませる。 ・画面の切り替え時にリズムよくほめる。 ・2回目は担任が「はい」と指示を出してから、読ませる。 ・3回目は「となりの人よりも早く」読ませる。 

6. 実践のポイント

- ・市販の「小学校のフラッシュ基礎・基本1年生（チエル株式会社）」を使った。
- ・どの子もわかる問題を5問程度を2～3回繰り返します。子どもがもっとやりたいと言っても、たくさんやらせずに「また明日」と明日に持ち越すのがポイント。